

【速習版】OJTトレーナー育成研修プログラム		
時間	第1講 内容（2時間）	手法
60	① 魅力のある社会人とは ・自分が考える社会人像とギャップ 【ワーク】先輩社会人としてあるべき姿とは 多様性を認め生かすために必要なこと	講義 ワーク
15	② 自分自身を振り返る ・自分が新人だったときに不安だったこと 【ワーク】新人・若手の頃に不安だったことを振り返ってみよう ・新人の不安を理解する	講義 ワーク
45	③ OJTとは ・OJTの定義、基本 ・OJTに期待されるもの 【ワーク】あなたが仕事をするうえでの“考え方の軸”とは ・OJT担当の役割 【ワーク】あなたがOJTトレーナーとして組織から求められている役割とは ・OJT担当に求められるもの 【ワーク】求められているものに対して優先順位をつける	講義 ワーク
時間	第2講 内容（2時間）	手法
30	① 分かりやすい説明 ・他者に説明してみよう 【ワーク】自部門の仕事について説明する ・伝えるために必要な要素とは ・相手が主役 【ワーク】専門用語を新人に伝えるとしたら、どう伝えるか	講義 ワーク
45	② 適切な指示の出し方 ・適切な指示の出し方 ・指示を確認する ・指示の進捗確認をする 【ケーススタディ】優秀だが、指示したことしかやらない新人さん ・信頼やねぎらいの言葉をかける 【ワーク】これまでの自分の指示の出し方を振り返り、改善すべき点を書き出す	講義 ワーク
45	③ 報連相をしてもらうために ・報連相とは ・報告のタイミング 【ワーク】報告の適切なタイミングをあげる 【ワーク】上長や先輩に報告しなければと思いつつ、何となく気後れしてしまったこととは、どんなことか。 ・受ける側の責任 ・受ける側の留意点 【ワーク】報連相を受ける側の留意点をあげる ・上長のための報連相	講義 ワーク
時間	第3講 内容（2時間）	手法
90	① 育成計画を立てる ・育成計画の立て方 【ワーク】3ヶ月間の育成計画を立てる 【発表】育成計画レビュー	講義 ワーク 発表
30	② まとめ 【ワーク・発表】自分がめざすOJTとは	ワーク 発表